

**令和8年度（2026年度）
B チャレ（提案公募型協働事業）チャレンジ部門
募集要項**

文京区社会福祉協議会（以下、文社協）は、地域連携ステーション フミコム（以下、フミコム）の目的である「新たなつながりを創出し、地域の活性化や地域課題の解決を図るための協働の拠点」の体現化を目指しています。「B チャレ」では、協働により地域課題解決に向けて新たにチャレンジする事業に助成します。

※事業愛称として、文京（Bunkyo）の「B」、チャレンジの「チャレ」から「B チャレ」としました。

【助成対象となる団体】

文京区内を活動対象としている任意団体・NPO 法人・一般社団法人・企業等とします。なお、区内での活動実績がない団体であっても、区外での活動実績があり、区内を対象とした活動を展開する団体であれば助成対象とします。

【助成内容】

1. 助成期間

令和8年（2026年）5月1日～令和9年（2027年）2月28日

2. 助成部門

チャレンジ部門

地域の団体等が、自らが文京区の地域課題だと考えるテーマの検証を目指して行うイベントあるいはキャンペーン事業への助成

○助成要件

- ・実践することで文京区の新たな地域課題の発掘につながる事が予見され、また取組への意欲や実現可能性及び将来性が感じられる事業・実施団体であること
- ・過去に採択されている内容と同一の事業を、同じ実施主体が申請を行うことはできない
- ・別紙チェックシートにすべてチェックの入る事業・実施団体

○助成金額

1事業あたり 上限20万円

○助成対象期間

当該年度の助成期間内で、交付決定日から事業を終了し、実績報告書を提出するまでの期間とする

3. 助成金の総額

400万円（令和8年度新たなつながり部門との総額）

4. 対象経費

申請事業を行うために必要だと認められる経費

※対象とならない経費

- ①助成期間をこえても資産になり得るもの
- ②相場価格以上の講師謝礼金
- ③団体等の職員・スタッフへの人件費

④助成対象経費とすることが適当でない则会長が認める経費

【応募方法】

別紙の「チャレンジ部門」チェックシートの内容をご確認ください。

フミコムに来所（またはオンライン）にてチェックシートをご提出いただき、提案内容を担当者と相談後、「チャレンジ部門」エントリー関係書類一式を共有いたします。

申請期間内に、エントリー関係書類一式の必要項目にご記入いただき、必要書類とともにご提出ください（提出はデータでも可能です）。

なお、ご来所の際はご予約をお願いします。

相談から採択決定まで概ね1～2か月程度かかります。

【申請期間】

令和8年（2026年）4月1日（水）～9月30日（水）

※当該年度の助成総額に到達したところで募集を終了します

【提出が必要なもの】

1. 「チャレンジ部門」チェックシート
2. 「チャレンジ部門」エントリー関係書類一式（概要調書・企画書・予算書・関係者マップ）
3. 団体概要の分かる書類（会則、会計報告）
4. その他フミコムが必要と判断した書類（パンフレット、開催実績、報告書など）

【審査基準】

団体からのエントリーシートを受けて、文京区と社会福祉協議会で、下記の項目について書類審査を行います。

1. 実施内容
 - ・団体が取り組みたい課題は、文京区内を対象としており、わかりやすいものであるか
 - ・これまでの取り組みにない新しい視点や、新しい連携・協働先があるなど、新規性のある事業になっているか
 - ・実施事業の文京区や区民への貢献性があるか
 - ・実施事業に他の団体との連携・協働の視点はありますか
2. 対象の明確さ
 - 対象が明確であり、文京区で取り組む必要があるか
3. 実効性
 - 事業スケジュールは実現可能であり、概要に沿った内容になっているか
4. 将来性
 - B チャレを実施することで、今後の波及性も含めて具体的な展開が見込めるか
5. 費用の妥当性
 - 実施に必要な費用が積算されており、妥当性があるか
6. 実施体制
 - 事業実施に必要な実施体制か、また関係図は他者が見て理解しやすい状態になっているか
7. 取り組みへの意欲
 - 実績、熱意を含めて、B チャレに取り組む意欲を担当者から感じるか

【成果報告】

令和9年（2027年）2月に予定されている地域連携ステーション主催のふみこむフェスタにて事業成果を報告いただきます。

助成事業終了時に、成果物や領収書等と共に所定の様式にて報告をご提出いただきます。

報告いただいた内容は、文社協ホームページなどで適宜公開させていただきます。

【団体の役割】

1. 事業における課題を明確化、根拠となる説明、データの収集
2. 事業実施前と実施後の変化の仮説を立てた上での事業の組み立て
3. 協働相手との連携・調整も含めた主体的なチャレンジによる事業実施
4. 地域連携ステーションへの進捗共有と相談
5. 事業報告書の作成、助成金対象支出の根拠資料の提出

【フミコムの役割】

1. 団体からの相談を受け、団体体制や事業内容の検討や助言
2. 必要に応じて適宜、専門相談等へのつなぎ
3. 他団体との連携提案や紹介
4. 広報や周知の協力
5. 団体との成果報告の検討

【事業スケジュール】

・令和8年（2026年）

- 4月1日（水） 募集開始
- 5月1日（金） 事業実施期間開始
- 9月30日（水） 募集締切

・令和9年（2027年）

- 2月28日（日） 事業実施期間終了
※当該年度の助成総額に到達したところで募集終了

※事業終了後、1ヵ月以内に実績報告書を提出（最終締切は3月末日）

【審査会スケジュール（予定）】

チャレンジ部門は書類審査で採択可否を判断します。なお、書類審査を行う審査会は、申請期間内で計3回の開催を予定しており、一定期間内の申請をまとめて審査します。

令和8年（2026年）

- ・5月 第1回審査会：4月中に申請された事業の審査（申請締切は4月末日）
- ・7月 第2回審査会：5月～6月に申請された事業の審査（申請締切は6月末日）
- ・10月 第3回審査会：7月～9月に申請された事業の審査（申請締切は9月末日）

【問合せ・提出先】

文京区社会福祉協議会

地域連携ステーションフミコム 市民活動担当

電話：03-3812-3044

E-mail：fumikomu@bunsyakyo.or.jp